

比較文化史学専攻分野

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	開講 Semester	曜日	講時	頁
ユーラシア文化史特論Ⅰ	ソ連極東地域史研究	2	寺山 恭輔	1学期	金	2	1
ユーラシア文化史特論Ⅱ	ソ連極東地域史研究Ⅱ	2	寺山 恭輔	2学期	金	2	2
ユーラシア文化史研究演習Ⅰ	ソ連史文献研究Ⅰ	2	寺山 恭輔	1学期	金	4	3
ユーラシア文化史研究演習Ⅱ	ソ連史文献研究Ⅱ	2	寺山 恭輔	2学期	金	4	4
課題研究 (比較文化史)		4	寺山 恭輔	通年	水	2	

科目名：ユーラシア文化史特論 I / Eurasian Cultural History(Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 2 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：寺山 恭輔（教授）

講義コード：LM15209， 科目ナンバリング：LHI-HIS672J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ソ連極東地域史研究

2. Course Title (授業題目)：

History of Soviet Far East

3. 授業の目的と概要：

ブーチン大統領によって導入された大統領全権代表制度は、ロシア帝国時代の総督府制度を想起させた。その中でも極東管区はプリアムール総督府が起源である。本講義では、ロシア帝国時代からスターリン時代を通じたこの極東地方の歴史を概観する。

4. 学習の到達目標：

1. ロシア極東地域の形成過程を理解する。
2. ロシア革命後、1920年代から第二次世界大戦終結までのスターリン時代のロシア極東地域の発展過程を理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ロシア極東とは イン트로ダクション
2. ロシア極東へのロシア帝国の拡大過程
3. プリアムール総督府の設置
4. 総督の極東統治策①
5. 総督の極東統治策②
6. 総督の極東統治策③
7. 日露戦争とロシア極東
8. ロシア革命とロシア極東
9. シベリア出兵
10. 極東共和国
11. 極東共和国の併合によるソ連の形成
12. 政治局決定にみる 1920年代ソ連の対極東政策
13. クビャクとソ連極東
14. ガマルニクとソ連極東
15. 1920年代末の本格的なソ連極東政策の形成

6. 成績評価方法：

レポート 50%、出席 50%

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、授業の中で適宜、参考文献を紹介する。

8. 授業時間外学習：

紹介する参考文献を読んでくること。

9. その他：

オフィスアワー 金曜日 16：00－17：00

科目名：ユーラシア文化史特論Ⅱ／ Eurasian Cultural History(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 2講時

学期：2学期， 単位数：2

担当教員：寺山 恭輔（教授）

講義コード：LM25209， 科目ナンバリング：LHI-HIS673J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ソ連極東地域史研究Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：

History of Soviet Far East Ⅱ

3. 授業の目的と概要：

前期に引き続き、ソ連の極東地方の歴史を総括するが、後期は1930年代以降、第二次世界大戦が終結するまでの時期に焦点をあてる。

4. 学習の到達目標：

1. ロシア極東地域の形成過程を理解する。
2. ロシア革命後、1920年代から1930年代のスターリン時代のロシア極東地域の発展過程を理解する。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

1. 満州事変とソ連指導部の反応
2. 国防拠点としてのソ連極東政策①
3. 同上 ②
4. 同上 ③
5. 同上 ④
6. 鉄道と極東への動員策①
7. 同上②
8. 同上③
9. 極東地方党委員会の活動
10. ダリストロイの形成
11. 国境紛争
12. 独ソ戦争時のソ連極東①
13. 同上②
14. 対日参戦と北方領土問題の発生
15. 総括

6. 成績評価方法：

レポート50%、出席50%

7. 教科書および参考書：

教科書は使用せず、授業の中で適宜、参考文献を紹介する。

8. 授業時間外学習：

紹介する参考文献を読んでくること。

9. その他：

オフィスアワー 金曜日 16:00-17:00

科目名：ユーラシア文化史研究演習 I / Eurasian Cultural History (Advanced Seminar) I

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

学期：1 学期， 単位数：2

担当教員：寺山 恭輔（教授）

講義コード：LM15406， 科目ナンバリング：LHI-HIS676J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ソ連史文献研究 I

2. Course Title (授業題目)：

Reading text of Russian and Soviet History I

3. 授業の目的と概要：

ロシア・ソ連史に関するロシア語及び英語文献を読むことでロシア語及び英語の解読能力の向上をはかる。受講者が交代で、自分の研究分野に関する論文の要旨を発表し、それに関して出席者全員で議論する形で授業を進める。受講生のロシア語読解力のレベルに応じて、適宜テキストを選択する。

4. 学習の到達目標：

- ①. 研究文献を読むことにより、ロシア・ソ連史を研究するために必要なロシア語及び英語の読解力を高める。
- ②. 参考文献の探し方、引用の方法も同時に学ぶ。

5. 授業の内容・方法と進度予定：

担当となる受講者は、事前に自分の関心のあるテーマに関するロシア語または英語の論文を選び、受講者全員に配布するとともに、発表当日には要旨をまとめて参加者の人数配布し、発表すること。以下、毎週同じ。

6. 成績評価方法：

授業への出席（50%）と報告の内容（50%）によって判定する。

7. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。

8. 授業時間外学習：

発表の担当でない受講者も、事前に配布される論文を読み、議論に参加すること。

9. その他：

科目名：ユーラシア文化史研究演習Ⅱ／ Eurasian Cultural History(Advanced Seminar)II

曜日・講時：後期 金曜日 4 講時

学期：2 学期， 単位数：2

担当教員：寺山 恭輔（教授）

講義コード：LM25404， 科目ナンバリング：LHI-HIS677J， 使用言語：日本語

1. 授業題目：

ソ連史文献研究 II

2. Course Title (授業題目)：

Reading text of Russian and Soviet History II

3. 授業の目的と概要：

前期と同じ

4. 学習の到達目標：

前期と同じ

5. 授業の内容・方法と進度予定：

前期と同じ

6. 成績評価方法：

前期と同じ

7. 教科書および参考書：

教科書は使用しない。

8. 授業時間外学習：

発表の担当でない受講者も、事前に配布される論文を読み、議論に参加すること。

9. その他：